

教育・子育て部会 これからの子育て・子育ての方向性

教育・子育て部会では、学力や自己肯定感、基本的な生活習慣（例：毎日朝食を食べる、十分睡眠をとる）などについての東淀川区の子どもたちの実態を踏まえて、「学力向上、学習支援」「自尊感情の向上」「子育て支援」の3つの大きな課題のうち、まず「自尊感情の向上」に課題を絞って議論することにより、学力や子育て支援も含めて広く検討を進めてきました（別紙参照）。

このたび、これまでの議論をもとに、「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりに向けて、これからめざしたい子育て・子育ての方向性について、まとめました。

※部会では、「子ども自身が自らの力で成長すること」という意味で「子育て」ということばを使い、「子育て」を支えるのはおとなの役目であり、その過程でおとなも成長することだと捉えています。

1 子どもとおとなが互いに元気になるまちづくり

- ・子育ては、家庭の責任も大事ですが、家庭だけでは力が及ばないこともたくさんあります。子どももおとなも誰もが安心して自然に声をかけあうことができる関係をふだんから地域で培ったうえで、「子どもも親も周りから見守られ支えられている」という安心感のある、地域ぐるみでの子育てをすることが重要だと考えます。
- ・いつでも誰にでも開かれた地域の居場所で、赤ちゃんから高齢者まで世代を超えた人の輪の中で、子どもが見守られ支えられながら、学び、遊び、健やかに過ごし、子どももおとなも一緒に元気になる、そんな「場づくり」をそれぞれの地域で進めていくことが必要です。

2 こどもの夢と希望を育むまちづくり

- ・東淀川区には、広く誇れる伝統や技術、歴史、芸術、スポーツなど「まちの宝」があります。子どもたちへ、まちの素晴らしさを伝えたり、さらには新しくまちの魅力を創りながら、区内外に発信することが、こどもの夢や健やかな成長につながる「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりへつながっていくと考えます。

3 すべての子どもが「生きる力」を身につける子育て、「共育」のまちづくり

- ・すべての子どもが基礎学力や体力、基本的な生活習慣など、これからの社会を健康で心豊かに力強く生き抜き、未来を切り拓く力を身につけられるよう、子育て・子育ての取り組みを進めていく必要があります。
- ・子どもとともに家庭や地域のみんなが自ら学び、互いに育てあう「共育」の取り組みを進め、それがさらに次の世代の子どもたちの「子育て」につながっていくことが大切です。

見込まれる
成果・効果

- ・地域から認められ、大切にされる
- ・人が好きになる。人と仲良くなる。友達ができる
- ・いのちを大切にし、周囲に感謝する心を育てる
- ・自信がつき、自己肯定感につながる
- ・積極的に学ぼうという興味を抱く
- ・地域に愛着をもつようになる

など

こどもの自尊感情が
低くなる原因・背景

- ・親から愛されていると思えない
- ・ほめられない、しかられてばかり
- ・他人との関わりが少ない
- ・誰にも相談できない
- ・勉強についていけない

など

負の連鎖を断つために区役所と
区民がともに取り組めること

- ・できたことをほめる
- ・挨拶運動・声かけをする
- ・相談・聞いてあげる
- ・居場所をつくる
- ・親子で遊べる場づくり

など

自尊感情が低いと、
こどもはどうなるのか
(現状・将来への影響)

- ・不安になる
- ・やる気がなくなる
- ・夢がもてない
- ・自分を責める、自分が嫌いになる
- ・他人に優しくできない
- ・ひきこもりやすくなる

など